

第1回6月 東大本番レベル模試 英語採点基準

記述問題の採点は問われた内容にほぼ正しく答えているかどうかで判断することを原則とし、表記上の些細なミス（例えば、iの点やtの棒の脱落など）は減点しない。

配点表

大問	小問	配点	小問数	小計	大問ごと
1	A 要約	10	1	10	24
	B(ア) 記号	2	5	10	
	B(イ) 英作	4	1	4	
2	A 英作	12	1	12	22
	B 英作	10	1	10	
3	A 記号	2	5	10	30
	B 記号	2	5	10	
	C 記号	2	5	10	
4	A 記号 (完答)	2	4	8	20
	B(ア) 和訳	4	1	4	
	B(イ) 和訳	4	1	4	
	B(ウ) 和訳	4	1	4	
5	(A)(B) 記号	2	2	4	24
	(C) 単語記入	2	1	2	
	(D) 説明	4	1	4	
	(E) 説明	2	1	2	
	(F) 記号	2	5	10	
	(G) 記号	2	1	2	
合計					120

5(C)は west 以外不可。綴りの誤りは1字でも不可。

【1】－A (10点満点)

【例1】

自信は勇気を与えるが、自信過剰は大損失につながる。自信過剰は、客観性より調和を重視する集団思考によって強化され、反対意見を封じ込める。集団思考の兆候が見られたら外部の人に代替案を求めるべきである。(98字)

【例2】

自信過剰は独りよがりな判断を引き起こし、失敗を招く。これを強めるのが、身内の論理に同化して客観性を欠き、異論を排除する集団思考である。この兆候が現れたら外部の意見を取り入れて別の選択肢を考慮すべきだ。(100字)

<p>必須項目 (10点)</p>	<p>① 「自信過剰になると、自分の長所を過大評価し、競争相手の長所を過小評価する」(2点) Too much confidence, however, can set a person up for a fall. Overconfidence encourages us to overestimate our own strengths and underestimate those of our rivals. ▶ 「自信過剰(overconfidence)」に相当するものがないものは2点減点。 × 「信頼／確信」は「自信」と認めない。(採点例7)</p> <p>② 「自信過剰は集団思考によって強化され、<u>思考の統一</u>を願うあまり<u>別のやり方</u>を考えようとしなくなり、反対意見は抑え込まれる」(4点) Overconfidence is reinforced by group-thinking, a mode of thinking that people engage in when they are involved in a strongly united ingroup, when the members' yearning for <u>unity of thinking</u> is stronger than their motivation to realistically consider <u>alternative courses of action</u>. In the end, opposing views are repressed in favor of harmony and an illusion of confidence. ▶ 「集団思考(group-thinking)」に相当するものがないものは2点減点。 ○ 「思考の統一 (unity of thinking に相当するもの)」は「集団思考」と認める。 × 「集団」だけでは「集団思考」と認めない。 ▶ 「反対意見(opposing views)」に相当するものがないものは2点減点。</p> <p>③ 「集団思考の徴候が現れたら、危機的な過ちにつながる前に、外部の人を入れて、代替案の提示を頼もう」(4点) If you see any of these symptoms in your group, you should get rid of them before group-thinking leads to critical thinking errors. Open up the door and try to let in some bright, respected people from outside, and ask them to provide alternatives. ▶ 「外部(outside)の人を入れる」に相当するものがないものは2点減点。 × 「外部集団を無視する[軽蔑する]」は「外部の人を入れる」と認めない。 ▶ 「代替案(alternatives)」に相当するものがないものは2点減点。 ○ 「別のやり方」(<u>alternative courses of action</u> に相当するもの)は「代替案」と認める。 × 「反対意見／反対案／異なる考え」は「代替案」と認めない。</p>
-----------------------	--

- ① 内容の不足は上記配分で減点。内容の順序は問わない。
- ② その他、誤訳、不適切な表現は程度に応じて1～2点減点。
- ③ 字数制限を満たさないものは0点。

【1】－B（イ）（4点満点）

【例1】

Between two periods of gathering and of hunting, there was a period in which humans lived near water to catch sea creatures, and it affected human evolution. (27 語)

(採集と狩猟という2つの時期の間に、海の生物を捕まえるために人間が水辺で暮らした時期があり、それが人間の進化に影響を及ぼした)

【例2】

Humans evolved from forest dwellers as gatherers to water dwellers, and on to plain dwellers as hunters. As water dwellers, humans lived in watery environments and developed their unique features. (30 語)

(人類は採集者としての森の住人から水の住人に進化し、さらに狩猟者としての平原の住人へと進化した。水の住人として、人間は水のある環境で暮らし、独自の特徴を発達させた)

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。
同じ誤りは**最初の誤りのみ減点**。
2. 指定語数（30語程度）から著しく乖離するもの（19語以下あるいは41語以上）は**0点**。
3. 内容面で以下のポイントを満たさないものは、それぞれ該当の点数を減点。

the Aquatic Ape Theory（水生類人猿説）の内容

「人類には森の果実採取者から平原の狩猟者へと移行する間に水辺で暮らした時期があった」

ポイント1 「森の住人[果実採取者]から平原の狩猟者へと移行する間に」 (2点)

*from a fruit-picking forest-dweller to a hunter on the open plains に相当するものがないものは**2点減点**。

ポイント2 「水辺で暮らした時期があった」 (2点)

*near water / closer association with the water / close to the water's edge / watery life / with water など可。

*water がないものは**2点減点**。aquatic だけでは water と認めない。

【2】 -A (12 点満点)

【例 1】

It is difficult to see yourselves objectively. Therefore, when you give guidance about something to others, you should ask yourself whether you can really do it by yourself or not. You should be aware that if you cannot do it by yourself, what you say is not convincing at all, and nobody will listen to you. (56 語)

(自分自身を客観的に見るのは難しいことです。ですから、他人に何かを指導するときには、自分で本当にそれができるかどうかを、自分自身に問いかけるべきです。もし自分でそれをできない場合には、あなたの言うことには少しも説得力がなく、誰も耳を貸さないことに気づくべきです)

【例 2】

Parents often set far higher expectations for their children than necessary. Moderate expectations might help children achieve higher goals. However, parents should not try to force their children to do something they themselves can't do. Otherwise, this might lead to putting unnecessary pressure on children or cause them to rebel against their parents. (53 語)

(親というもの、しばしば必要とする以上に、自分の子供にはるかに高い期待をかけることがあります。適度に期待することは、子供がより高い目標を達成するのに役立つかもしれませんが、しかし、親は自分自身ができないことを子供に無理強いしようとすべきではありません。さもないと、これが子供に不必要な重圧をかけることになったり、親への反抗の原因になったりしかねません)

【例 3】

Being a role model is one of the good ways to persuade others, but it is not always possible for you to set an example. The most important thing is how to motivate others to follow you. If you cannot do something by yourself, it doesn't really matter. All you have to do is find a way to motivate others. (60 語)

(模範を示すことは、他人を説得する良い方法の一つですが、手本を示すことがいつも可能だとは限りません。最も大切なことは他人が従ってくれるようにいかに動機づけするかです。もし自分自身で何かができなくても、それは大した問題ではありません。他人をやる気にさせる方法を探しさえすればよいのです)

【例 4】

I once believed my father was the best baseball coach. By the time I joined a team, I was pretty confident in my skill. However, I couldn't play as well as any other player in the team. From this experience, I've learned that parents aren't as perfect as I thought they were. Probably this little crab thought the same. (59 語)

(私はかつて自分の父が最高の野球のコーチだと信じていました。あるチームに加わるまで、私は自分の技術にとっても自信がありました。しかし、私はそのチームでは他のどの選手よりもうまくプレーできませんでした。この経験から、私は親というのは思っているほど完全ではないことを学びました。この子ガニもおそらく同じことを思ったでしょう)

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1 点減点**、重大な誤りは**2 点減点**。同じ誤りでもすべて減点。
2. 語数制限 (40 語～60 語) を満たさないものは**0 点**。
3. 内容面で以下のポイントを満たさないものは、それぞれ該当の点数を減点。

ポイント 1 引用されたイソップ寓話に関係がある。(6 点)

*引用されたイソップ寓話にまったく関係がないものは**6 点減点**。

*引用されたイソップ寓話との関係が不十分だと判断されるものは**3 点減点**。

ポイント 2 「思うこと」(6 点)

*これがないものは**6 点減点**。

その他、文と文のつながりにおける内容不整合など、不適切な箇所は程度に応じて 1～2 点減点。

【2】－B (10点満点)

【例1】

Although you always say that you should not be the way you are, you don't make any effort to change yourself. Moreover, you obviously seem to have an intention to get along without doing anything. I can see it in your face. (君はいつも、自分は今のままではだめだと言うが、自分を変える努力をまったくしない。その上、君は明らかに、何もせずやり過ごそうというつもりのようなのだ。私は君の顔にそれを見てとれる)

【例2】

Whenever you open your mouth, you say, "I'm not satisfied with myself. It's time for change." However, you never seem to make any effort for it. Your facial expression says that you are hoping to get away with doing nothing.

(君は口を開くといつも、「私は今の自分に満足してはいない。自分が変わる時だ」と言う。しかし、君は決してその努力をしないように見える。君の顔の表情から、君は何もせずにやり過ごしたいと望んでいることが分かる)

【例3】

You are always saying, "I'm no good if this situation stays the same." But you haven't shown a slightest trace of effort to change. You hope to be lucky enough to get along leaving things unchanged. It is written on your face.

(「今の状況が同じままなら自分は役立たずだ」と君はいつも言ってばかりいる。だが、変わろうという努力をちつとも見せたことがない。君の望みは、運よくこのまま何も変えずにやり過ごすことだ。それが君の顔に書かれている)

【例4】

"I must stop living this way" is the thing you always say. However, you have never made any effort to change your life. Worse still, it is all too clear from your face that you hope you will be luckily allowed to leave everything as it is now.

(「こんな生活はやめにしなければならぬ」というのが、君のいつもの口癖だ。しかし、君は自分の生活を変えようという努力をまったくしてこなかった。さらに悪いことには、運が良ければすべてこのまま放っておくことを許してもらいたいという願いが、君の顔からあまりに明らかなのだ)

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。

2. 次の区分を目安に得点を配分する。

- ① 「このままでは自分はだめだ」(2点)
- ② 「～とふたこと目には言うくせに」(2点)
- ③ 「少しも変わる努力をせず」(2点)
- ④ 「できればこのままやり過ごそう(という気持ち)」(2点)
- ⑤ 「～という気持ちが君の顔つきから透けて見えるのだよ」(2点)

【4】－B（ア）（4点満点）

<問題部分>

I have a padlock of high quality that I am confident is impossible to open without the use of a key that is in my possession.

<例 1>

私は、自分の持っている鍵を使わなければ決して開けられないと確信できるような、上質の南京錠を持っている。

<例 2>

私は高品質の南京錠を持っており、それは私が所有する鍵を用いなければ開けられないと確信している。

区分	配点	具体事例
I have a padlock of high quality 私は高品質の南京錠を持っている	1点	×I の訳抜けは不可（次の区分の I の訳があれば可）。 ×padlock は「南京錠」以外不可。 ×of high quality を padlock にかかる形容詞句ととっていないものは不可。
that I am confident is impossible to open 開けるのが不可能だと確信している[高品質の南京錠]	1点	×that が padlock を先行詞とする主格の関係代名詞だとわかっていないものは不可。
without the use of a key 鍵を使わずに	1点	×use の訳抜けは不可。
that is in my possession 私が持っている[鍵]	1点	×that が key を先行詞とする関係代名詞だとわかっていないものは不可。

- ① 上記の区分に分けて配点し、区分内に1か所でも誤りがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（イ）（4点満点）

<問題部分>

The key to it is to realize that use of two different padlocks allows the jewels to be sent in a locked container without any key leaving the possession of its owner.

<例 1>

解決の要点となるのは、2つの別個の南京錠を使うことで、どの鍵も所有者の手元を離れることなく錠を施した入れ物に入れた宝石を送ることができる気がつくことである。

<例 2>

その問題を解く鍵は、異なる2つの南京錠を使えば、どちらの鍵もその持ち主の手元を離れることなく、宝石を鍵のかかった箱に入れて送ることができる気がつくことだ。

区分	配点	具体事例
The key to it is to realize that ... 大事な点は…ということに気づくことである	1点	○to it の訳はなくてもよい。 ×to realize を is の補語となる名詞的用法の不定詞ととっていないものは不可。 ×that を use にかかる形容詞ととっているものはこの区分で減点。
use of two different padlocks allows the jewels to be sent in a locked container 2つの異なる南京錠を使えば宝石を鍵のかかった容器に入れて送ることができる	2点	×use(S) allows(V)のSV関係がわかっていないものは不可。 ×locked の訳抜けは不可
without any key leaving the possession of its owner 鍵がその持ち主の手を離れることなく	1点	×leaving に「残す／出発する」は不可。 ○possession の訳抜けは不可。

- ① 上記の区分に分けて配点し、区分内に1か所でも誤りがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（ウ）（4点満点）

<問題部分>

it remains true that for at least 60 years the greatest minds in cryptography believed the puzzle insoluble

<例1>

少なくとも60年間、暗号法の分野における最高峰という人々が、この問題の解決を不可能と思いこんでいたこともまた事実である。

<例2>

少なくとも60年間にわたって、暗号法において最も優秀な人々でさえもその難問を解決不可能だと考えていたことは真実のままである。

区分	配点	具体事例
it remains true that ... …ということは[依然として]真実である	1点	×it を that 以下ととっていないものは不可。 ×remains を過去時制で訳したものは不可。
for at least 60 years 少なくとも60年の間	1点	×at least の訳抜けは不可。
the greatest minds in cryptography believed the puzzle insoluble 暗号法の分野で最も優れた人でさえその謎は解決不能だと信じていた	2点	○minds の訳は人だとわかっているならば広く認める。 ×cryptography は「暗号[法]」以外不可。 ×minds(S) believed(V)のSV関係がわかっているものは不可。 ×believed O C の文型がわかっているものは不可。 ×believed を過去形ととっていないものは不可。 ×puzzle を「パズル」は不可。

- ① 上記の区分に分けて配点し、区分内に1か所でも誤りがあればその区分は0点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【5】－(C) (2点満点)

west 以外不可。綴りの誤りは1字でも不可。

【5】－(D) (4点満点)

<問題>

下線部 (D) の意味を、どのような比喩か分かるように、30 字程度の日本語で説明せよ。

tasted with its tongue a route of lesser resistance

<解答例>

川はより抵抗の少ないルートで、ヘビが舌で味わうように、流れていった。(34 字)

<別解例>

川は舌を出すヘビのように低いところへと道筋を選んで流れた。(29 字)

① 19 字以下、または 41 字以上は 0 点。文末の句点は不問。

② 次の (1) (2) が必須項目。

(1) 蛇が川の比喩であること。(これがないものは**2点減点**)

・「蛇」がない、あるいは「川」がないものは不可。

(2) 「より抵抗が少ないルートを流れる」に相当するもの。(これがないものは**2点減点**)

・「(蛇のように) うねる／くねくね曲がる」は「より抵抗が少ないルートを流れる」と認める。

【5】－(E) (2点満点)

<問題>

下線部 (E) は主人公のどのような気持ちを表したものが、15 字程度の日本語で説明せよ。

But (E) it was not okay.

<解答例>

臆病だと思われなくなかった。(14 字)

<別解例>

怖がっていると思われたくない。(15 字)

① 25 字以上は 0 点。

② 次の内容が必須。

「怖がっていると「臆病だと」思われたくない」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)